

# 福島潟エリアにおけるモデルプロジェクト案

新潟市北区観光協会 山田秀行

## 第1回活用部会における主なご意見・ご提案（福島潟モデルPJ関係）

### 1. 福島潟の魅力向上に向けたアクティビティ

- ①オープンカフェなどは大変良いアイデア。利用者が自然や鳥への関心を高められるような設計があるとさらに良い。たとえば、阿寒摩周国立公園川湯ビジターセンターにつくられたカフェのように、景色を見ながら温かいお茶を楽しむ場所は、地域の人から遠方の観光客まで、地域の魅力を伝える上で有効。
- ②体験を加えるなど、UX（ユーザーエクスペリエンス）デザインの思考が必要。
- ③自然を土台にした文化の中での様々な恩恵を伝えられるストーリーがあると良い。
- ④親子連れをターゲットにしてはどうか。
- ⑤利活用にあたっては、環境負荷を増やさないような配慮も必要。
- ⑥ラムサール条約の湿地自治体認証は、海外の方が関心を示すきっかけとなりうる。今後は、インバウンド向けの魅力を発掘していくことも必要。

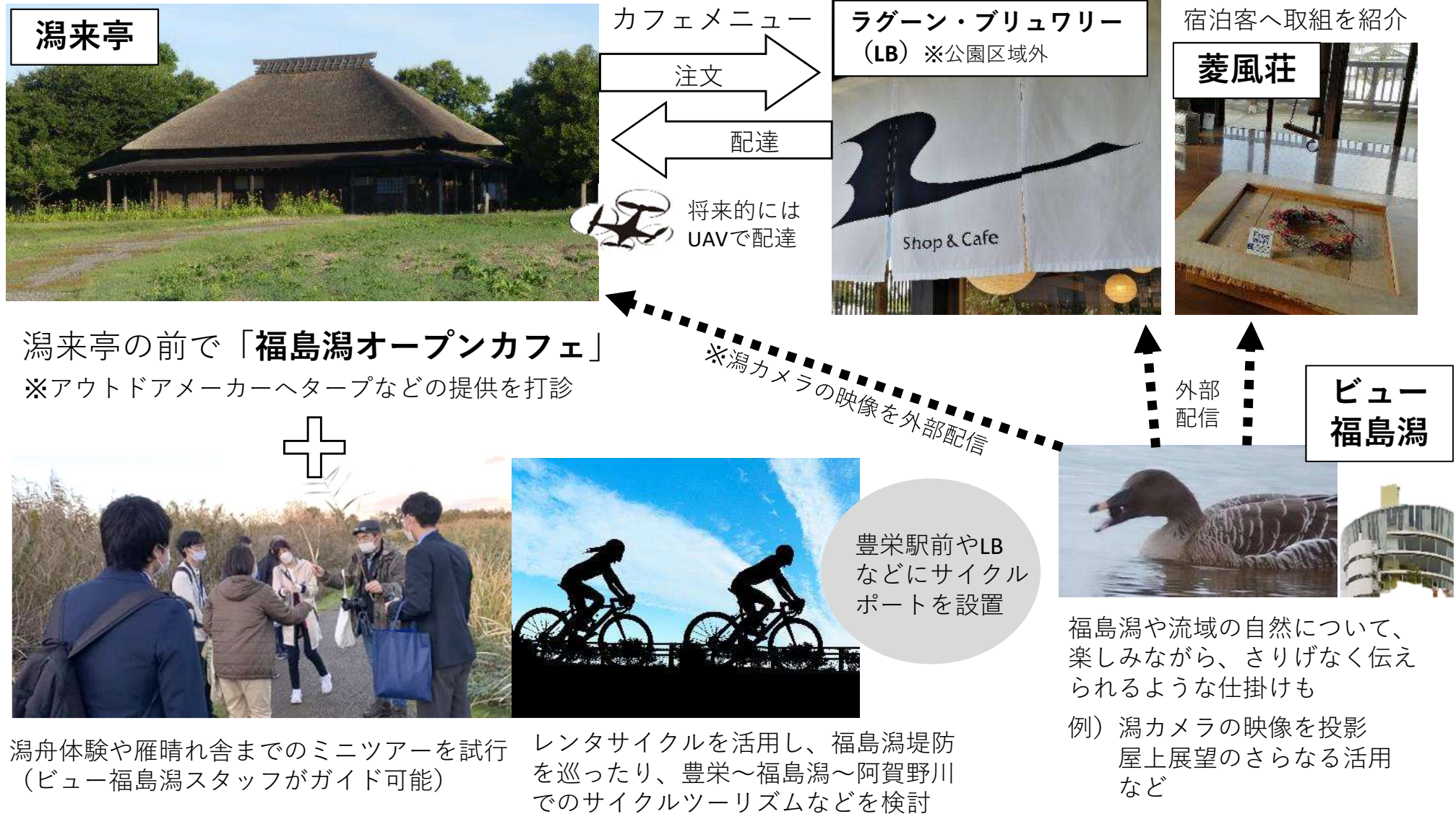
### 2. 周辺施設との連携

- ⑦月岡温泉において、持続可能な観光に興味を持っている宿泊施設との連携を検討してほしい。

### 3. 観光客に関する分析

- ⑧取組を試行した際には、社会科学的な検証とフィードバックが重要。

# 1. 試行的なイベント開催のイメージ (GW前後の繁忙期を避け、2023年の6月以降を想定)



- ・ アンケートにより、来訪者の属性や志向を把握し、今後の展開に活用
- ・ 利用状況を踏まえて、オープンカフェの常設化を検討 (チルキャンプとの組み合わせも)

## 2, 3. 周辺施設との連携・観光客の意識や行動に関する分析

1の検討結果を踏まえて、両地域での観光振興の相乗効果を図るため、互いの連携を強化できないか、新発田市観光振興課と下記について協議する。

### ①月岡温泉における課題

集客等について課題があるか。課題がある場合の対応策について。

### ②連携可能性の高い宿泊施設

持続可能な観光に興味を持っている宿泊施設はあるか。

### ③現状の把握

アンケート等により、両観光地の来訪者の観光行動などを調査・分析できないか。

(+越後平野全体における分析)

又は、既存の調査結果などがあるか。

### ④両地域の魅力紹介

福島潟と月岡温泉のそれぞれの魅力を互いに紹介する機会を創出できないか。

→(1)への参加、シャトルバス(豊栄駅⇔月岡温泉)の福島潟への立ち寄りなど

### ⑤相互PR

将来的に、両地域において、それぞれの来訪者へ両地域の魅力をPRできないか。